



Ferndale
フアンデール

組立前の確認事項チェックリスト

■組立をはじめる前に。。。

●組立をはじめる前に、組立説明書(本書)をよく読み、内容を理解してから、組立を開始してください。それがスムーズに作業を進めるコツでもあり、簡単にきれいに組み立てるポイントです。

●使用している木材はツーバイ材ですが、天然の木なので、割れやそり、ヤニ、ささくれなどが発生する場合があります。木の特性を十分理解した上で、組み立ててください。

また、木肌がきれいな面を外側にするときれいに仕上がります。

■パーツの形状、数量を確認してください。

●パーツリストを参考に、数量がすべてそろっているかどうか、確認してください。万が一、不足している場合は弊社営業担当者までお電話ください。すぐに発送いたします。

●釘や金物は十分な数量を用意していますが、万一、足りなくなった場合は、最寄りの金物店等でお買い求めください。

■設置場所の確認

●以下のところへの設置は避けましょう。



●建物の屋上など、不安定な場所には設置できません。

●崖のふち、風当たりの強い場所など、安全の確認ができない場所には、設置しないでください。

●大屋根から雨水や雪が、直接屋根に落ちる場所には、設置しないでください。

■組立に必要な道具



水平器

バール

電動インパクトドライバー

金槌(ハンマー)



スケールメジャー(5.5m)

カッターナイフ



脚立



チョークライン



手のこ



ハンマータッカー

■道具を使うときは、周囲に注意し、安全を心がけましょう。

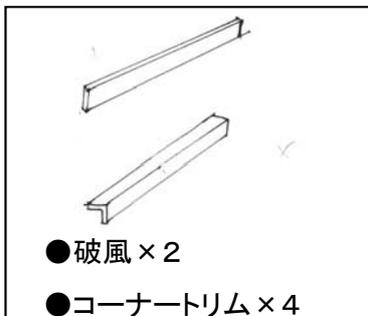
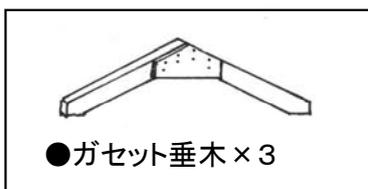
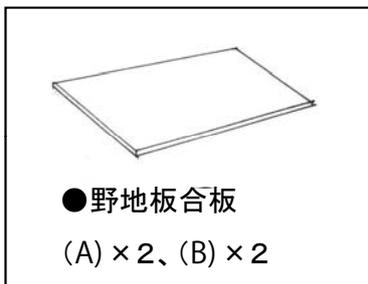
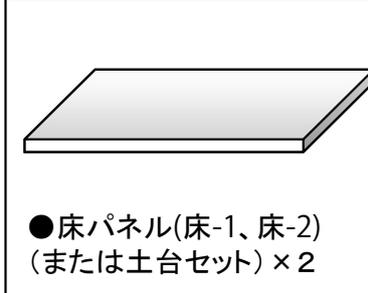
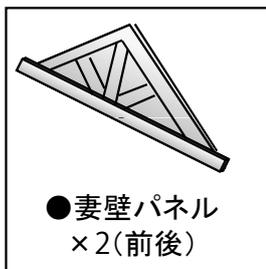
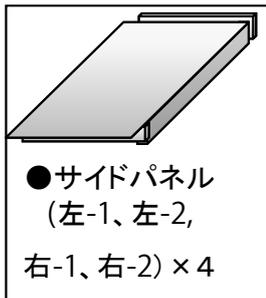
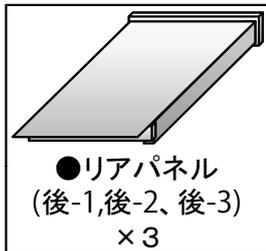
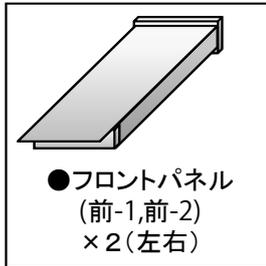
■さあ、あなただけのスモールハウスキットの組み立てをはじめましょう！



パーツリスト

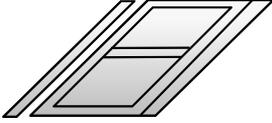
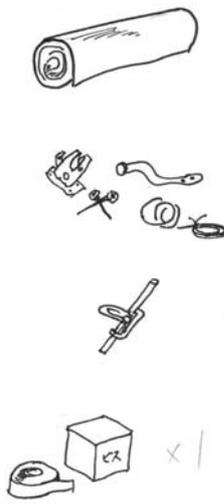
■パーツの種類、数量をご確認ください

●梱包をあけ、下記のパーツや数量がそろっているかご確認ください。



【金物・その他】

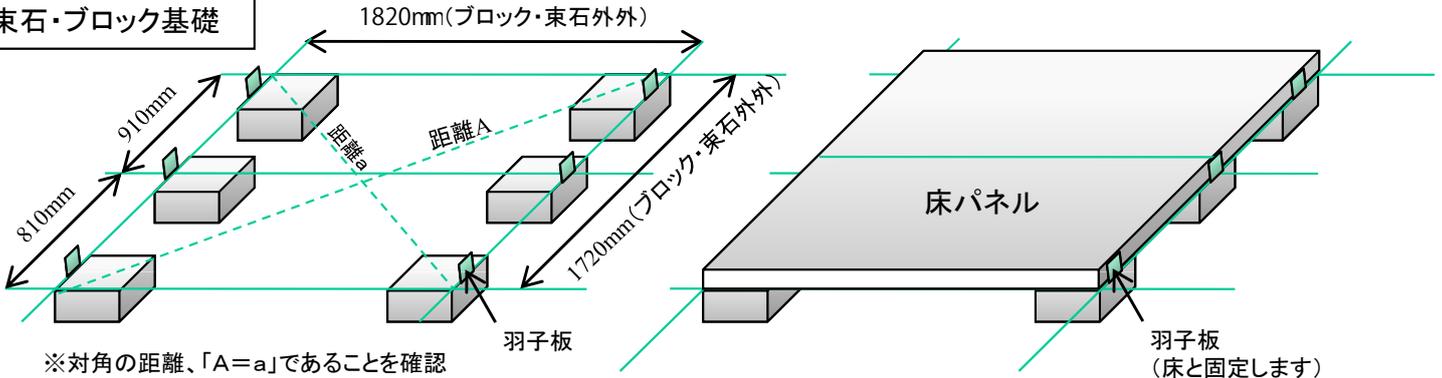
- ドア本体 ×1
- ドア補強Lアングル
- 取っ手・鍵セット
- 75mntビス ×1袋
- 41mntビス ×1袋
- 40mmスリムビス ×1袋
- 25mmスリムビス ×1袋
- ブチルテープ ×1巻
- 板金(L型) ×1
- アスファルトシングル
- シーシングネール ×1袋
- モエン釘 ×1袋
- 上枠(後、右、左、前)
- 窓セット(※オプション)
- 水切板金(※土台セットの時)



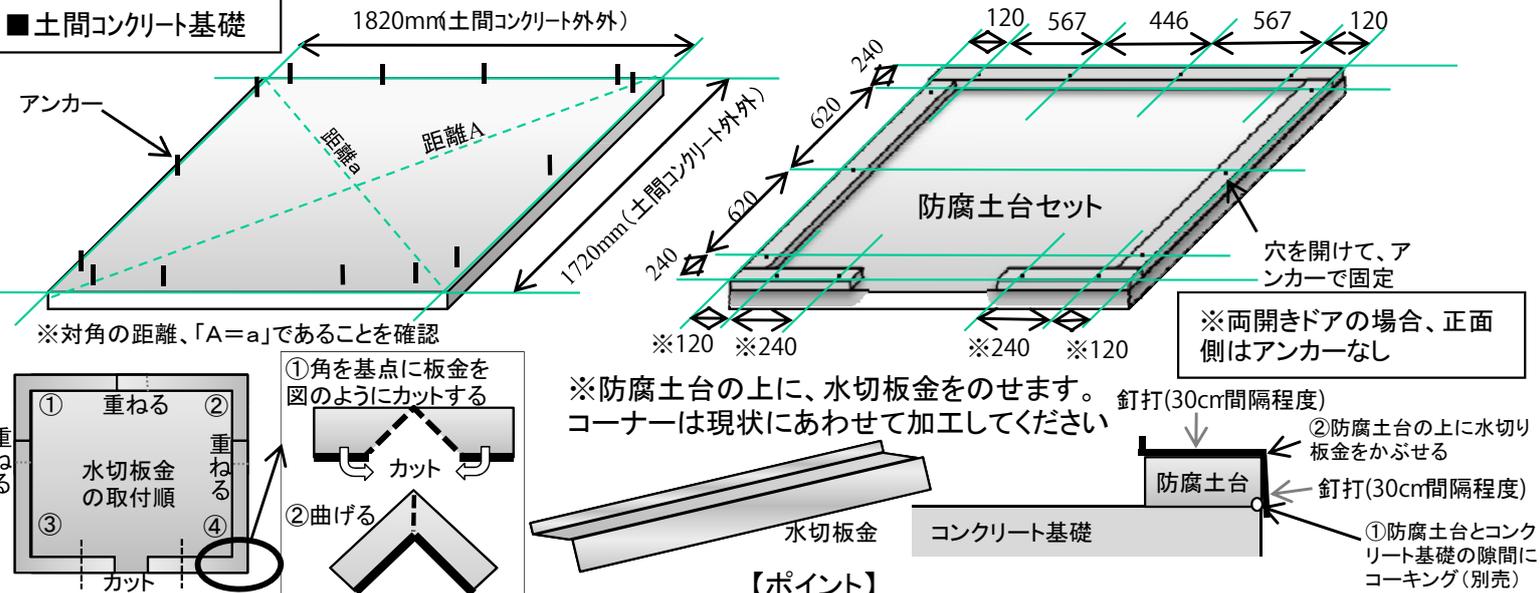
※パーツの数量が足りない場合や、内容がわからない場合は、弊社営業担当者までお電話ください。

■基礎の準備

■東石・ブロック基礎



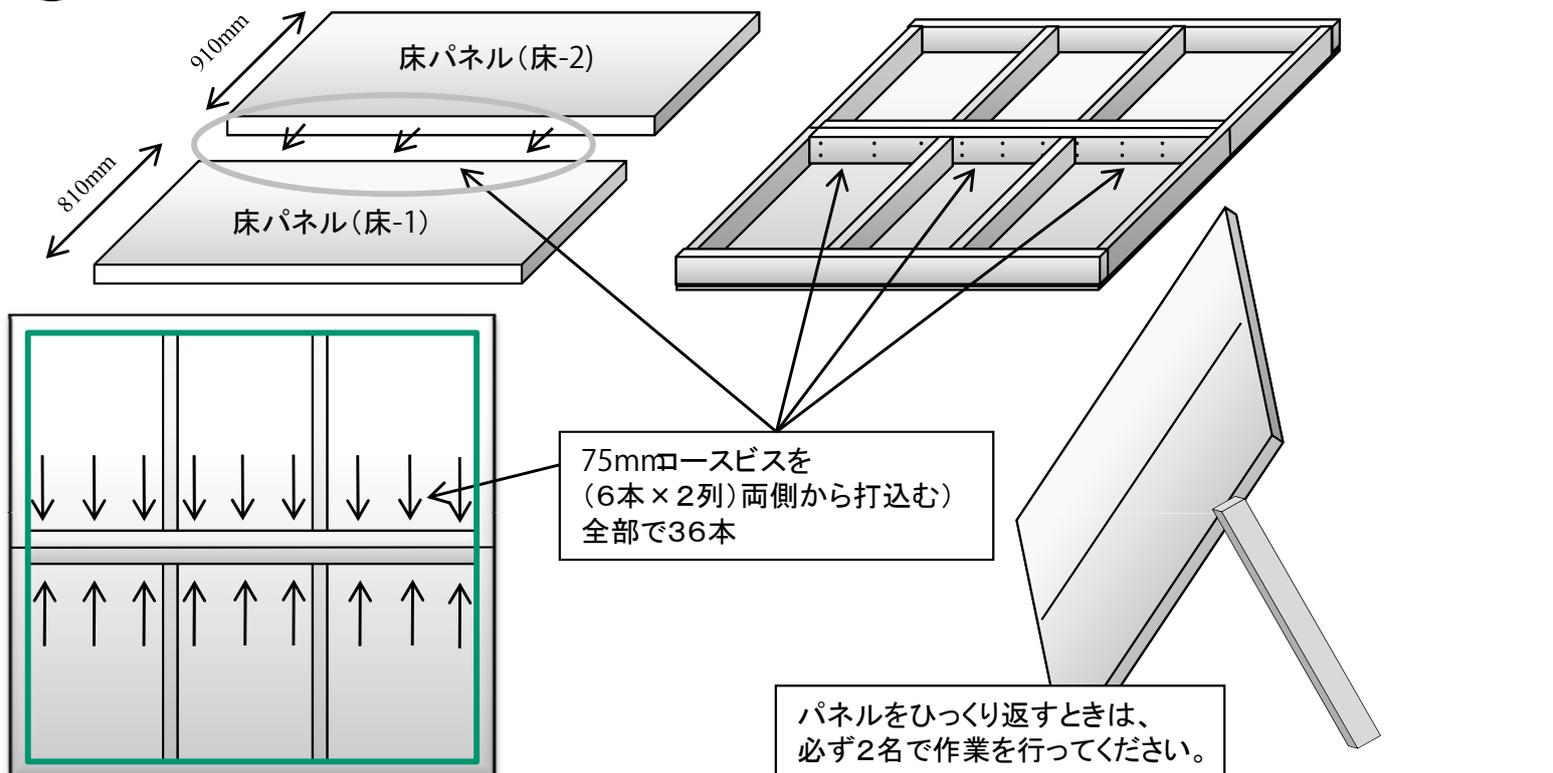
■土間コンクリート基礎



【ポイント】

- 床面がずれないように床パネルをそろえてください。
- 75mmビスは必ず両面からしっかりと打ち込んでください。
- パネルをひっくり返すときは、まわりに十分注意して、2名以上で行ってください。

①床パネルの組立



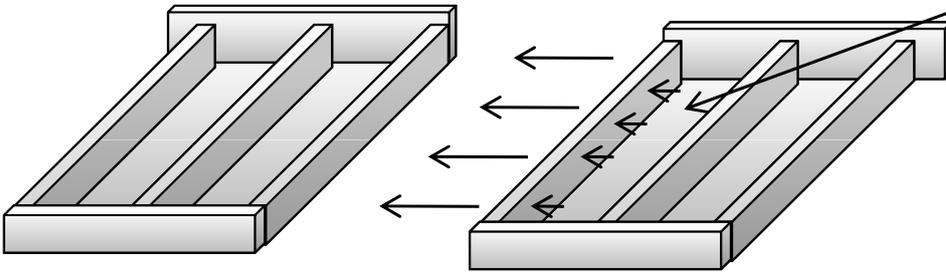
②壁パネルの組立

【ポイント】

・2分割で梱包されているリアパネルと、サイドパネル、フロントパネルを組み立てます。

75mmコースビス 20cm間隔
全部で10本

■リア・サイドパネルパネル



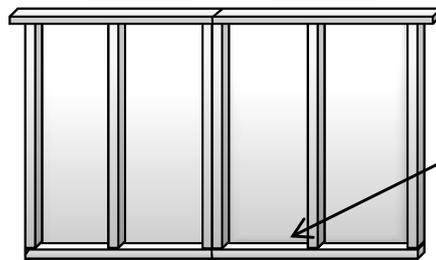
※上記はさきにパネルを組み立ててから壁起こしを行う作業の流れですが、1/2ずつ建ててもかまいません。その場合リアパネルから壁を起こしてください。
※リアパネルは「リアパネル1」を先に立てて、「リアパネル2」をスライドさせながら組み立ててください。

③壁起こし

サイドパネル
(左-1
左-2)

後-2

後-1



リア パネル

床パネル

サイドパネル
(右-1、右-2)

前-3

前-1

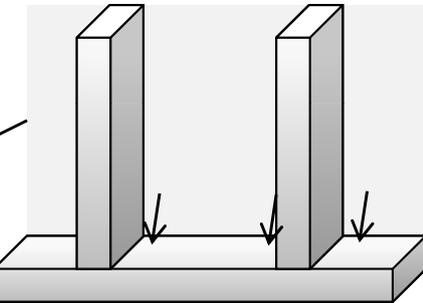
フロントパネル

前-2

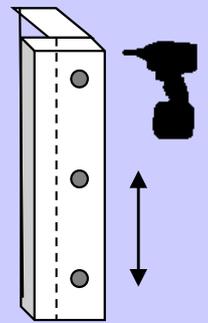
外壁が床にかぶさります。

壁パネル

床パネル

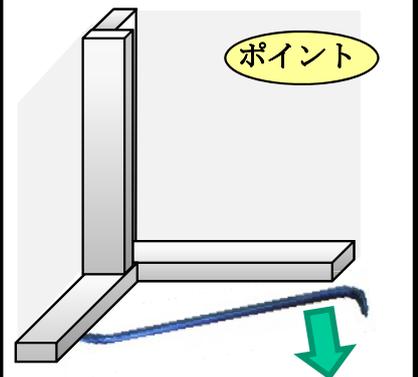


75mmビスを柱と柱の間で、3本ずつとめます。



75mmビスを20cm間隔でとめます。

ポイント



外壁がずれた時には、ボールを図のように使って調整しましょう。



内側から、床・壁のスタッドに20センチ間隔で75ミリビスを打ちます。

②壁パネルの組立

■リア・サイドパネルパネル

窓フレーム

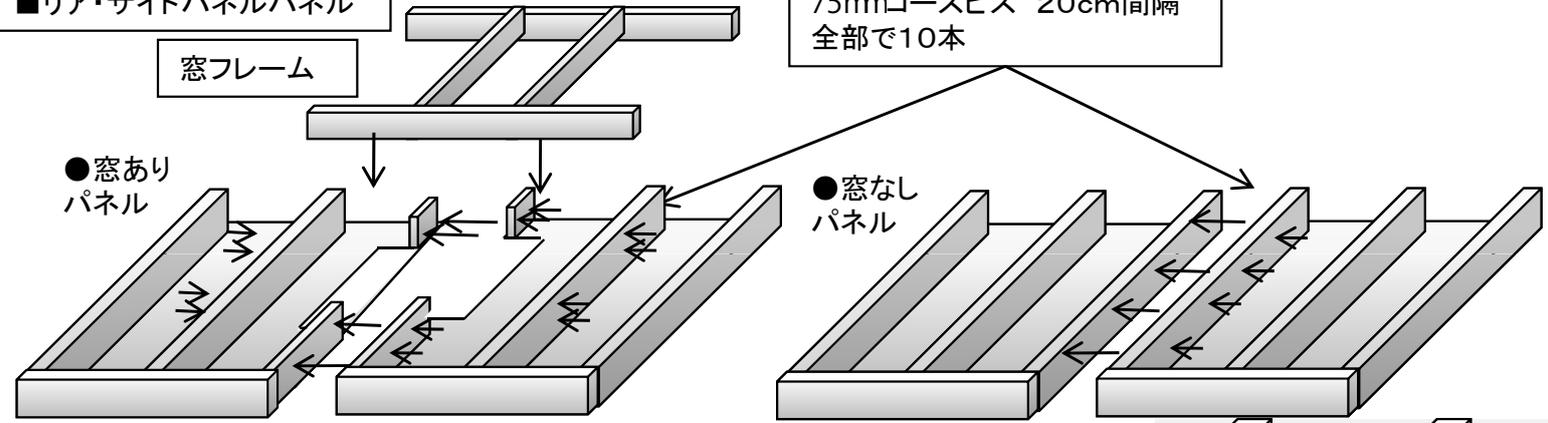
●窓あり
パネル

【ポイント】

・2分割で梱包されているリアパネルと、サイドパネル、フロントパネルを組み立てます。

75mmコースビス 20cm間隔
全部で10本

●窓なし
パネル



③壁起こし

75mmコースビスで上枠を壁パネルに2本ずつ打ってください。

サイドパネル
(左-1
左-2)

後-2

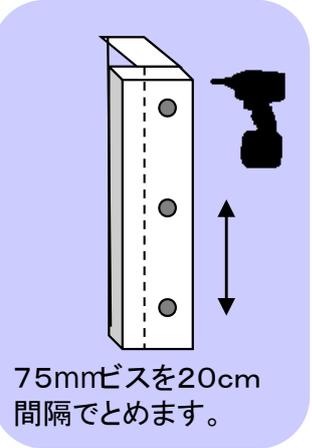
後-1

リア パネル

75mmビスを柱と柱の間で、3本ずつとめます。

床パネル
※または
防腐土台セット

サイドパネル
(右-1、右-2)



75mmビスを20cm
間隔でとめます。

外壁が床
にかぶさ
ります。

壁パネル

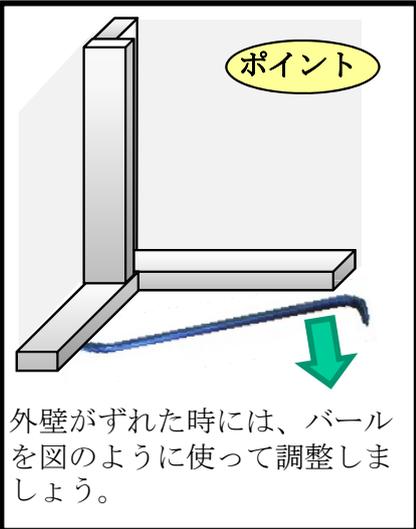
床パネル

前-1

フロントパネル

前-2

ポイント



外壁がずれた時には、バー
を図のように使って調整しま
しょう。

※防腐土台セットの場合は、土台水切の上にパネルを載せてください。



内側から、床・壁のスタッドに20センチ間隔で75ミリビスを打ちます。

屋根野地板の組立



【ステップ4】

妻壁パネルをフロントパネル・リアパネルにそれぞれ乗せ、妻壁パネルを内側から、75ミリビスで15センチ間隔に打ちます。

ポイント



パネルの内側から、妻壁と垂木を3組を、あらかじめ掛けておく作業が楽にできます。



【ステップ5】

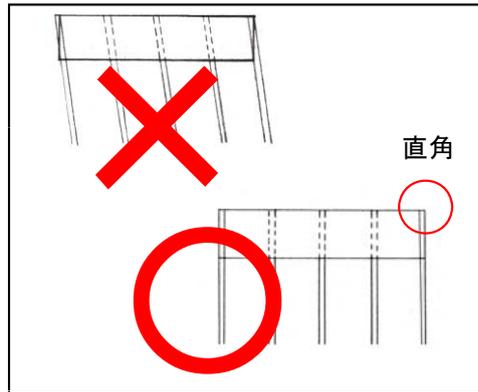
垂木の角が上枠の端から出ないように印に合わせながら、75ミリビスを3本ずつ止めます。3組とも両サイドを止め、前の妻壁パネルも止めます。



下枠から1本、

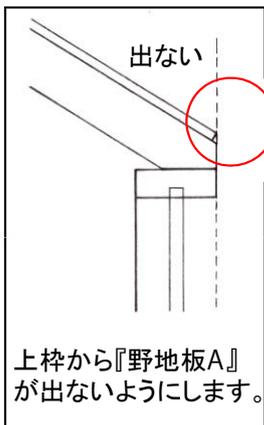
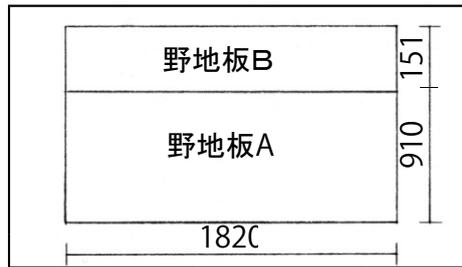


垂木の上から2本



【ステップ6】

『野地板B』を屋根に乗せ、上と角を合わせてから、スケールで計り、野地板Bに垂木の上の部分に印を付けます。下も同じように計り、線を引きます。



上枠から『野地板A』が出ないようにします。



【ステップ8】

『野地板A』を『野地板B』の下に合わせ、同じように、線を引いて、15センチ間隔で41ミリビスを打ちます。



【ステップ7】

上から垂木に沿って、15センチ間隔で41ミリのビスを打ちます。

屋根野地板の組立



破風

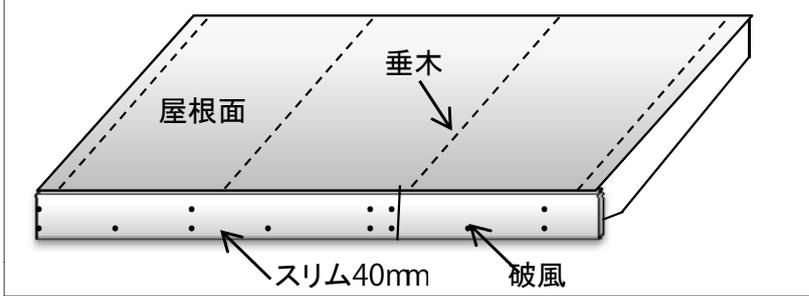
軒に『破風』を当て、長い部分に印を付けます。



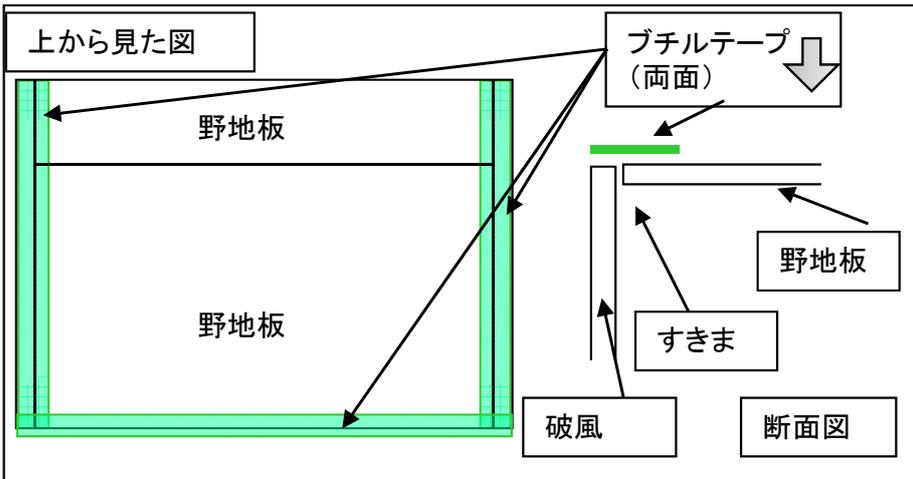
印のところを直角にカットします。



しっかり押さえ、スリム40ミリのビスで上下2本ずつ、左の図のように止めます。反対側も同じように止めます。



破風をスリムビス40mmで、垂木の位置に上下2ヶ所ずつ、その間の下の位置に1ヶ所止めます。反対側の破風も同じように取付ます。



破風・トリムと野地板の隙間に『ブチルテープ(両面)』を貼ります。軒先は、特に丁寧に貼りましょう。



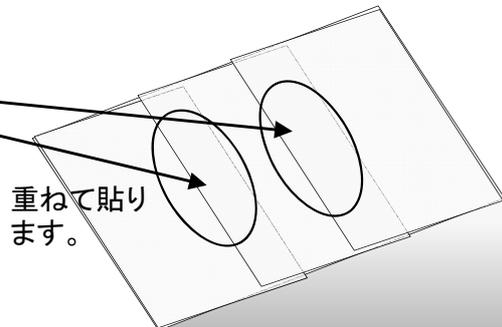
屋根野地板の完成です。



【アスファルトルーフィング】

野路OSB合板の上から、アスファルトルーフィングを貼ります。防水のために貼りますが、右図のように、下から重ねて貼ります。

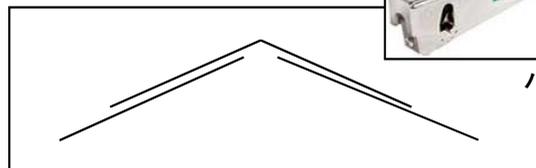
重ねて貼ります。



【片流屋根の場合】

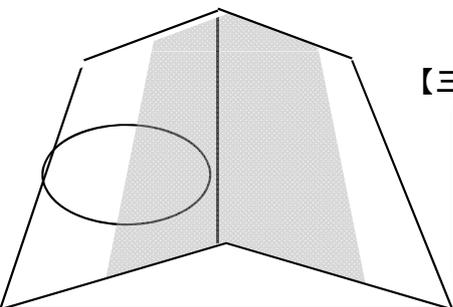


【三角屋根の場合】



ハンマータッカー

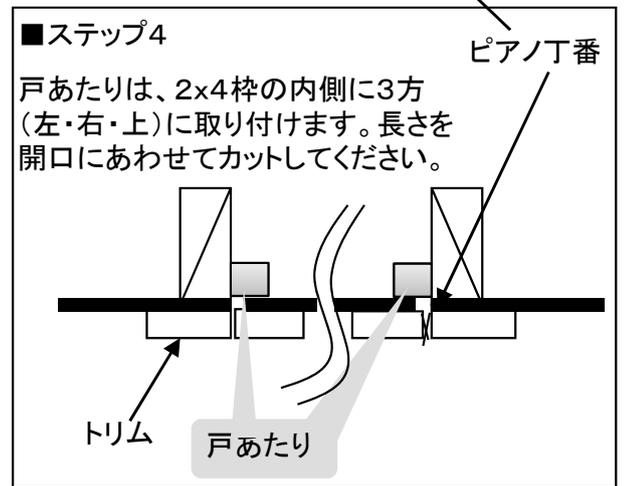
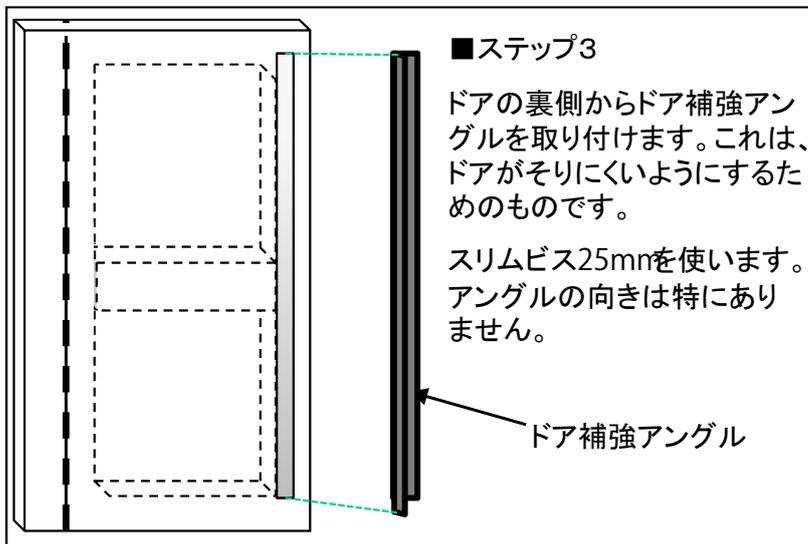
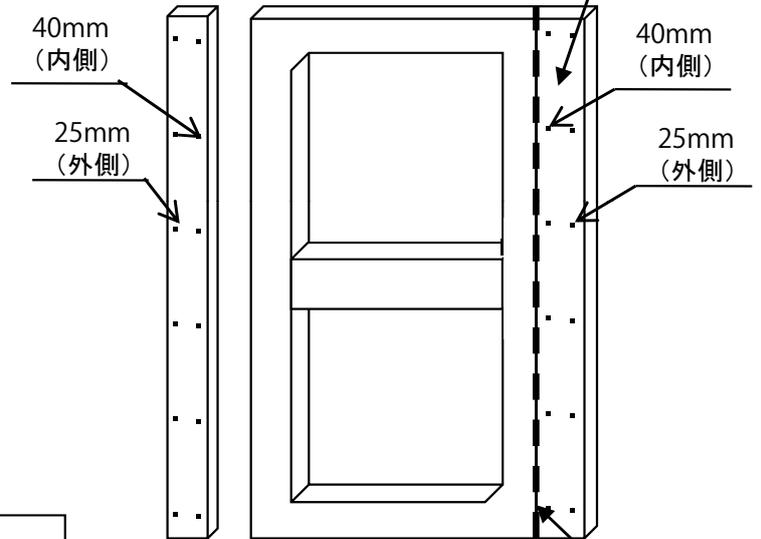
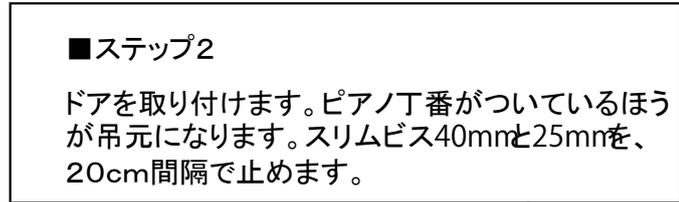
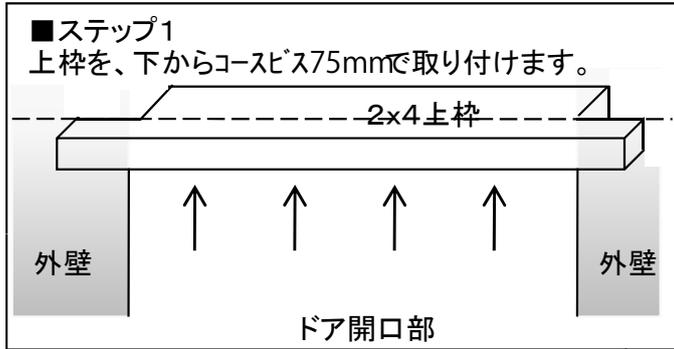
アスファルトルーフィングを上図のように重ねるように、野路OSB合板に貼ります。タッカーステープルまたは、ハンマータッカーを使って、アスファルトルーフィングを固定していきます。



⑦ ドアの取付

【ポイント】

● ドアを取り付けます。ドアと枠は一体なので、ねじれないように、建て付けをビスで調整しながら取り付けましょう。



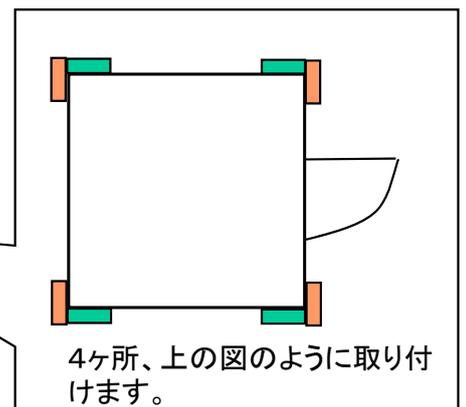
⑧ トリムの取付



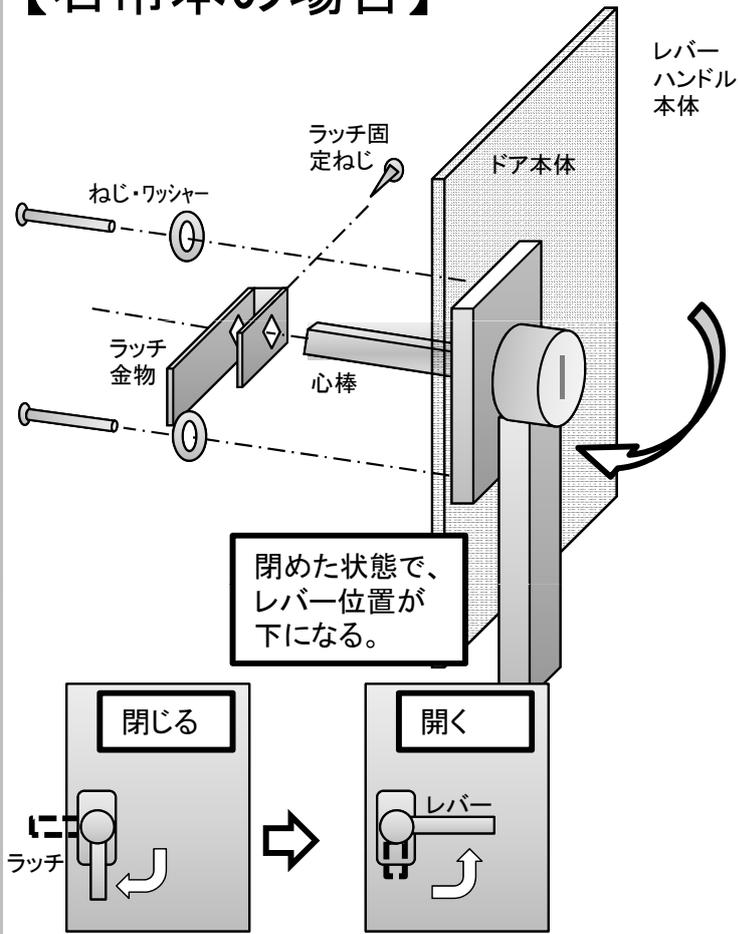
コーナートリムをそれぞれ、スリムビス25mmを20センチ間隔で止めます



トリムが完成です。

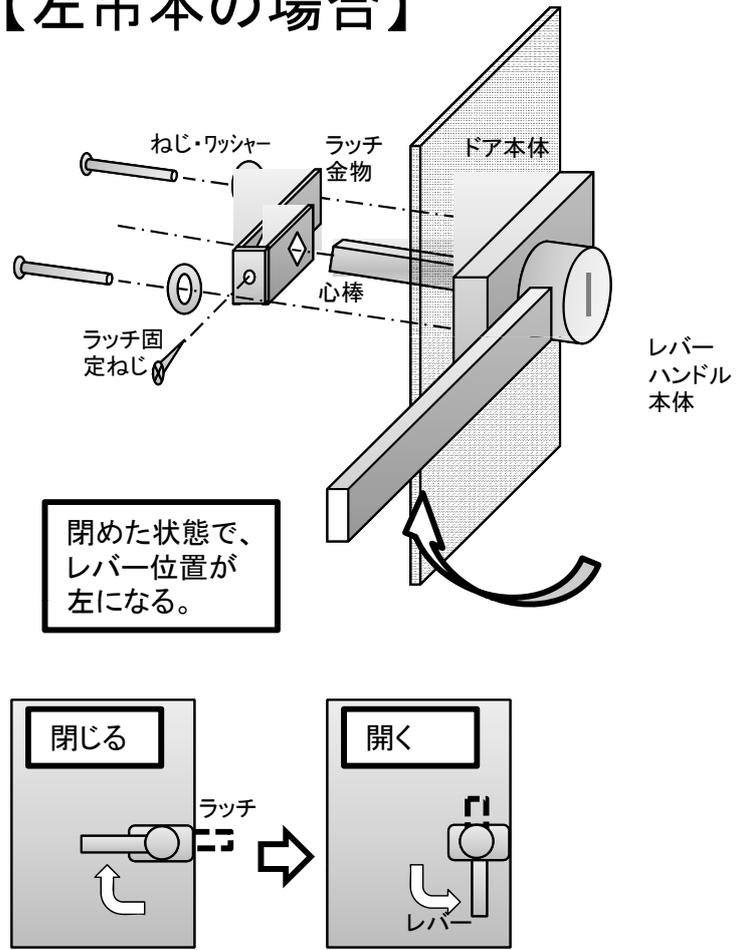


【右吊本の場合】



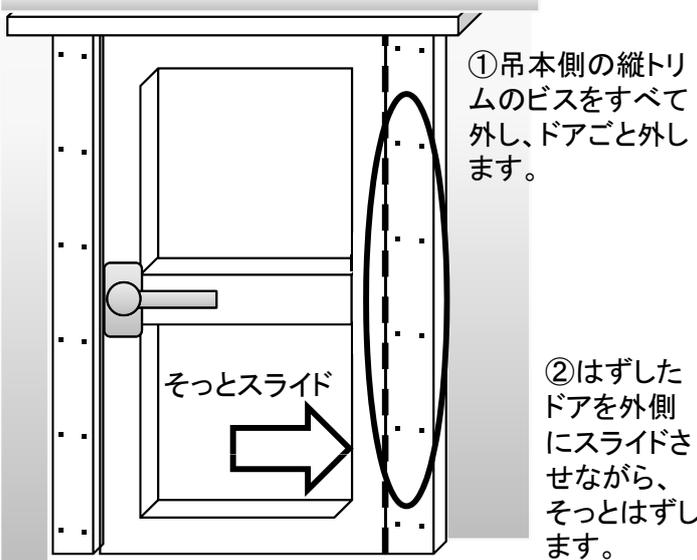
※右吊の場合は閉めた時にレバーが下側にきます。
また、レバーの台座は縦に取り付けます。

【左吊本の場合】



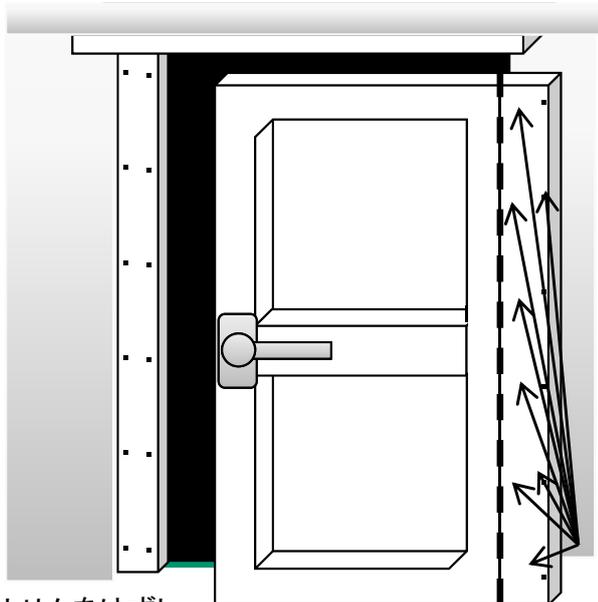
※左吊の場合は閉めた時にレバーが左側にきます。
また、レバーの台座は横に取り付けます。

【鍵が原因でドアが開かなくなった場合(両開・片開共通)】



①吊本側の縦トリムのビスをすべて外し、ドアごと外します。

②はずしたドアを外側にスライドさせながら、そっとはずします。



③ドアレバー金物を交換後、再度、ビスでドアを固定します。

※両開きドアの場合は、ドアとドアの間のめし合わせのトリムをはずしてから、縦トリムのビスを外すとスムーズに作業ができます。

ドアの調整

■ステップ1

ドアのどこが渋くなっているかを確認

- ②ドアの上の部分と横がぶつかる→②へ
①ドアと上枠がぶつかる→①へ

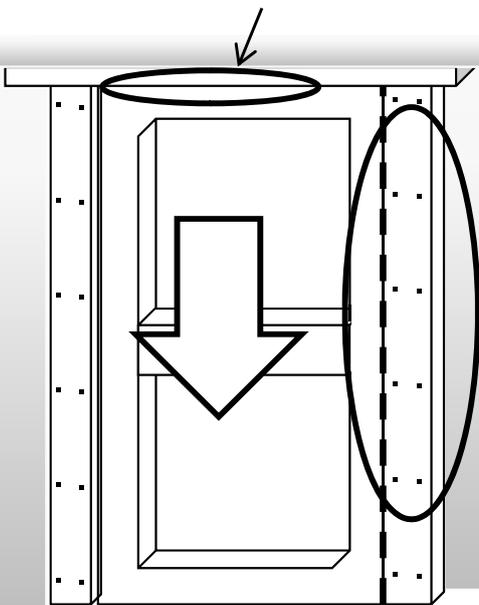


- ③ドアの下の部分と横がぶつかる→③へ

①ドアと上枠がぶつかる場合

ドアを下に下げます。

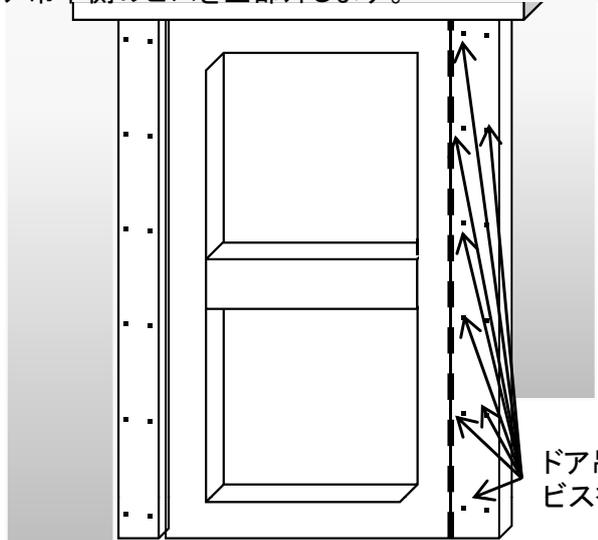
5mm程度さげて、ドアが上枠にぶつからない位置で、再び吊本側のビスを取り付けます。



ビス止めします。

■ステップ2

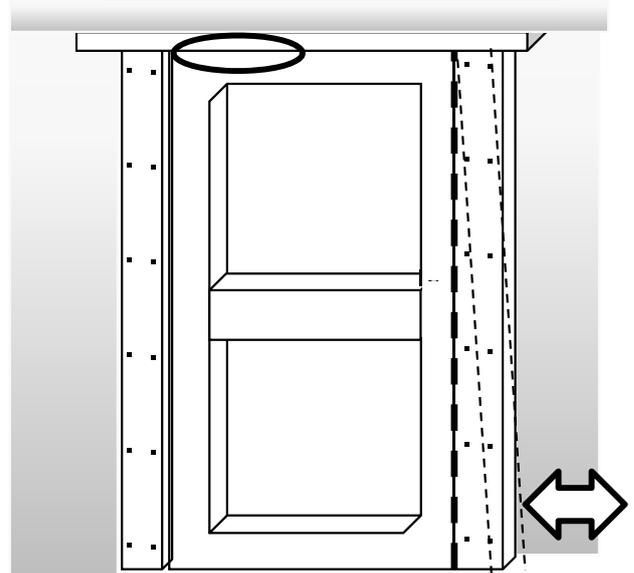
ドア吊本側のビスを全部外します。



ドア吊本側のトリムのビスを全部外します。

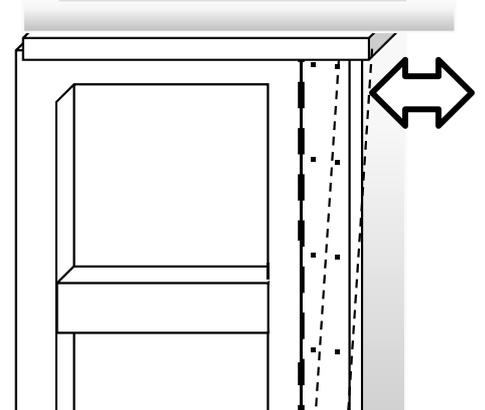
②ドアの上と横枠がぶつかる場合

ドアが上枠にぶつからない位置で、下枠を外にずらして、調整し、再び吊本側のビスを取り付けます。



③ドアの下と横枠がぶつかる場合

②の反対の要領です。上枠を外にずらして、調整し、再び吊本側のビスを取り付けます。

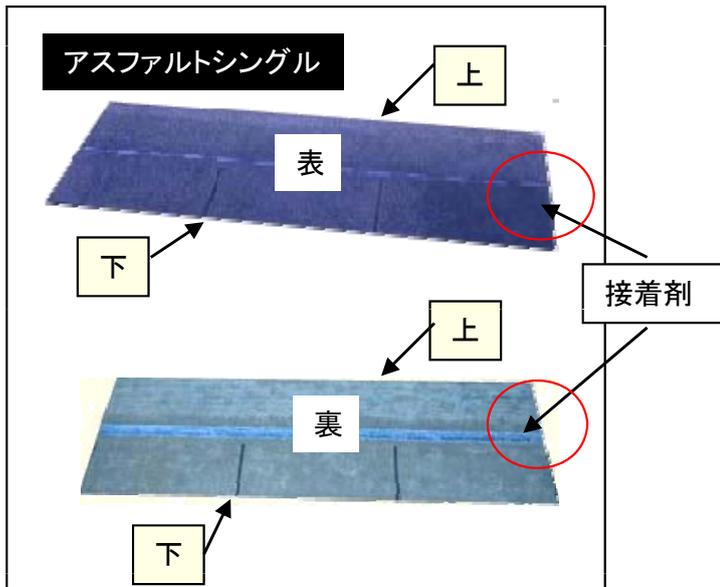


屋根材の取付

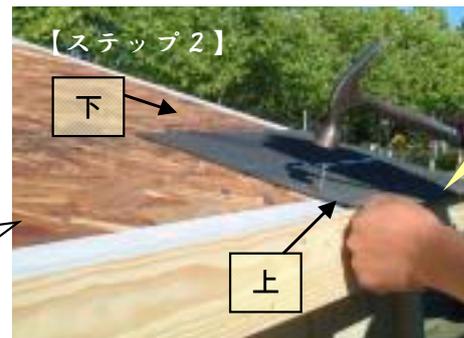
屋根垂木	アスファルトシングル	3	包			
------	------------	---	---	--	--	--

【ポイント】

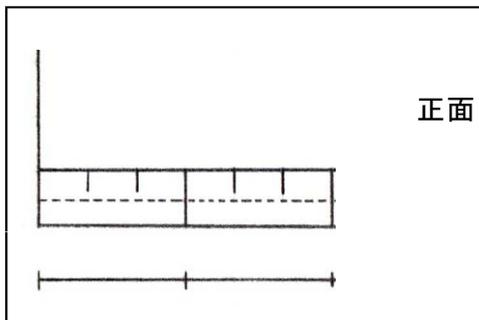
- 屋根にアスファルトシングルを貼ります。
- 高いところでの作業になりますので、脚立を使い、安全に気をつけて、作業しましょう。



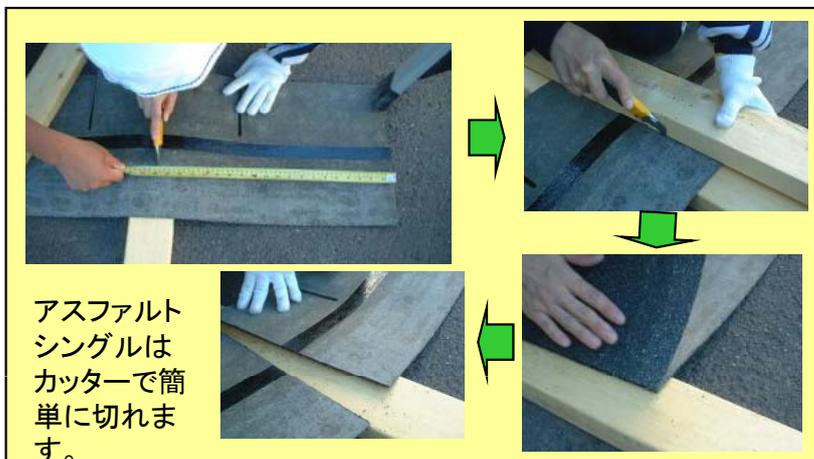
アスファルトシングルの裏のフィルムをはがします。
※国産のシングル材にはついていません。



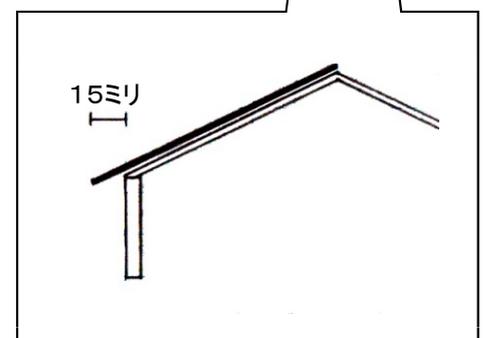
アスファルトシングルを貼り始めます。最初の一行は、上下を逆にします。2枚半で1列となりますので、左右に均等に合わせます。軒の下は15ミリくらい出るようにします。シー징ネールを15センチ間隔に打ちます。



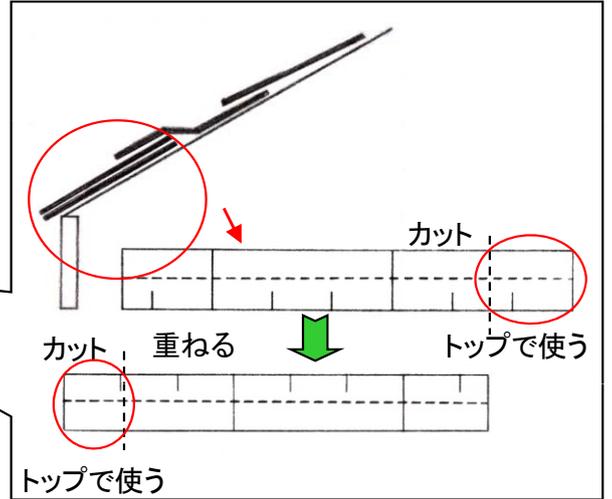
正面



アスファルトシングルはカッターで簡単に切れます。



屋根材の取付



下の1列目がスタートなので、同じ列に普通の向きのアスファルトシングルをもう一枚重ねます。



屋根の棟は、アスファルトシングルを3等分にカットし、上から重ねて貼っていきます。



2段目からは1段目に半分重ね、半分ずらして、貼っていきます。シージングネールを接着剤の上に、15センチ間隔で打ちます。



物置の内側はアスファルトシングルを打った釘が出ますので、金槌で釘の先を曲げておくと安全です。



完成です!!



下から見た様子です。



上から見た様子です。